

町政功労者顕彰式



〔自治功労賞〕
土井 享氏のご功績



平成15年から4期16年間にわたり、町議会議員として町政の振興発展に多大なご貢献をいただきました。
平成19年からの4年間は総務経済常任委員長、平成23年から4年間は副議長を務められ、平成27年から4年間は議長として、豊富な識見と卓越した指導力により議会を統率され、円滑な議会運営に努められました。

〔自治功労賞〕
西田 康二氏のご功績



昭和49年5月に秩父別町役場に奉職され、平成30年3月にご勇退されるまでの43年間にわたり、本町の振興発展に多大なご貢献をいただきました。
平成27年4月に、町議会の満場の賛同を得て教育長に就任され、以来3年間にわたり、多様化する教育行政の運営・振興発展に大きくご貢献いただきました。

〔善行賞〕
堀井 紀代志氏のご功績



昭和53年から、秩父別タイガース野球スポーツ少年団を平日・休日を問わずご指導いただき、現在も現役でご指導をいただいております。
4回にわたりチームを全道大会に導かれるなど、永年にわたり団員の野球技術の指導と子どもたちの健全育成にご貢献いただきました。

10月29日（木）、今年度町政功労者となられた3名をお迎えし、役場講堂で令和2年度町政功労者顕彰式を行いました。
式では、町長から顕彰状と功労章が授与され、出席した表彰審議会委員や議会議員の方々それぞれのご功績を称えました。

防災訓練を実施しました



スポーツセンターの体育館を避難場所として間仕切りやテントの設置を行いました。

◆感染症を意識した避難所 開設訓練を実施

10月24日、ファミリースポーツセンターで町職員を主体とした令和2年度防災訓練を実施し、各町内会長および自主防災組織モデル地区の方にもご参加いただきました。

今回は、新型コロナウイルス感染症流行中の災害発生を想定し、発熱者や体調のすぐれない方と通常の避難者の動線を分けた避難所開設訓練を中心に行いました。

訓練開始に先立ち、北海道総務部危機対策局危機対策課の上段危機対策調整員と、北海道旭川方面深川警察署の渡辺巡査部長から、感染症流行時の避難所の開設方法や、災害発生時の避難の心構えについてお話しいただきました。

講話の後、体育館を一般避難所として、2階大会議室を体調不良者の専用室として間仕切りやテントを設置し、町内会長など一般参加の方を模擬避難者として、1階ロビーに設置した避難者受付から各避難場所までの流れを体験していただきました。

また、最後にはアルファ米や豚汁など備蓄食糧を試食し、避難時の食事を体験していただきました。



発熱者等専用室では、ガウンを着て受付を行います



最初の受付では検温を行い、健康状態を確認します

